

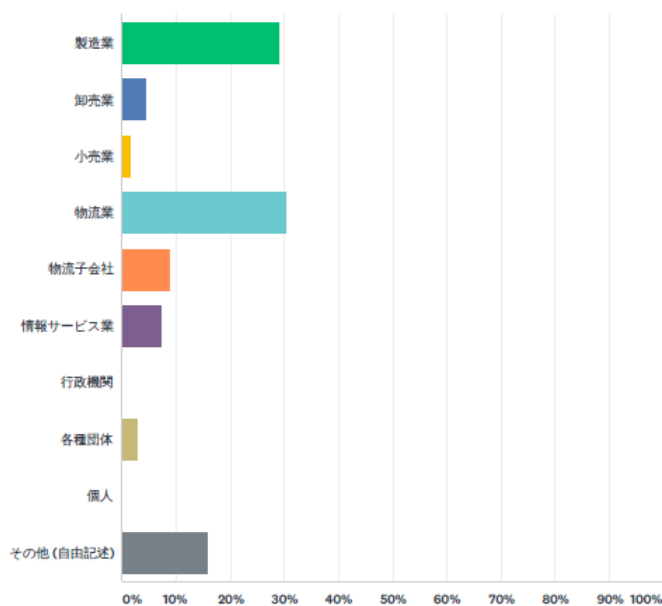
平成 30 年度（第 17 回）「グリーン物流パートナーシップ会議」
参加者アンケート調査結果

グリーン物流パートナーシップ会議 事務局

本アンケートは、平成 30 年度（第 17 回）「グリーン物流パートナーシップ会議」の参加者を対象にした Web アンケート調査の回答を集計したものです。

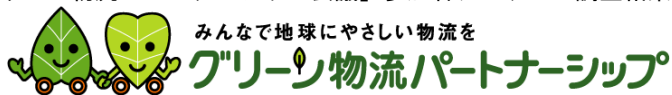
Q1：参加者所属先の業種区分（主たるもの）

A1:



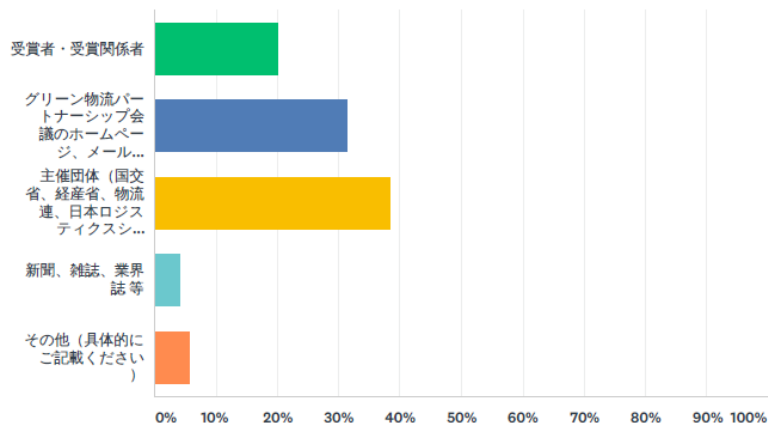
業種区分	回答数 (N=69)	回答割合 (%)
製造業	20	29.0%
卸売業	3	4.4%
小売業	1	1.5%
物流業	21	30.4%
物流子会社	6	8.7%
情報サービス業	5	7.6%
行政機関	0	-
各種団体	2	2.9%
個人	0	-
その他	11	15.9%

その他（主な自由記述）：建設業、不動産業、金融サービス業、リース会社、物流施設投資運用会社、大学、研究機関、物流業界団体、マスコミ（メディア）



Q2：参加のきっかけ

A2：

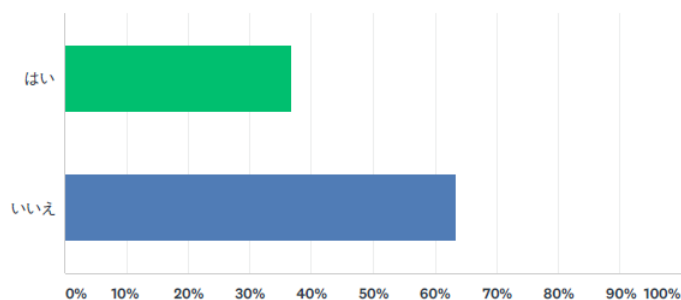


回答の選択肢	回答数 (N=70)	回答割合 (%)
受賞者・受賞関係者	14	20.0%
グリーン物流パートナーシップ会議のホームページ、メールマガジン	22	31.4%
主催団体 (国土交通省、経済産業省、(一社) 日本物流団体連合会、(公社) 日本ロジスティクスシステム協会) のホームページ、メールマガジン	27	38.6%
新聞、雑誌、業界紙等	3	4.3%
その他	4	5.7%

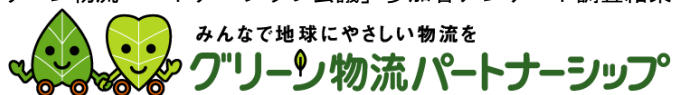
その他（自由記述）：「社内で別の担当者から誘われた」、「知人の紹介」、「口コミ」

Q3：グリーン物流の推進に際してパートナーシップを組んでの取組の有無（現状）

A3:



取組みの有無	回答数 (N=63)	回答割合 (%)
取組んでいる	23	36.5%
取組んでいない	40	63.5%

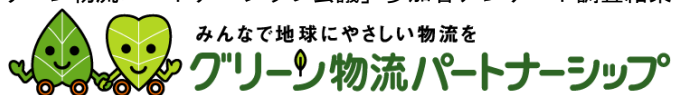


Q4-1：現在取り組んでいるグリーン物流並びに物流の生産性向上のテーマ（複数回答可）

A4-1：

回答の選択肢	回答数(N=63) ※複数回答可	回答割合 (%)
輸送ルート・輸送手段の工夫	34	54.0%
モーダルシフト	28	44.4%
共同輸配送	24	38.1%
拠点集約	16	25.4%
待ち時間の削減	16	25.4%
エコドライブ	14	22.2%
標準化（パレット、情報システムなど）	14	22.2%
帰り荷確保	11	17.5%
環境優良車の導入	8	12.7%
機械化・自動化	8	12.7%
取引条件（ロット、リードタイム、JIT、頻度など）の見直し	7	11.1%
バース予約システム	5	11.1%
マッチングシステム	4	6.4%
電子タグの活用	4	6.4%
一貫パレチゼーション	4	6.4%
ペーパーレス	4	6.4%
貨客混載の活用	2	3.2%
検品レス	2	3.2%
特になし	0	—
その他（具体的に）	8	12.7%

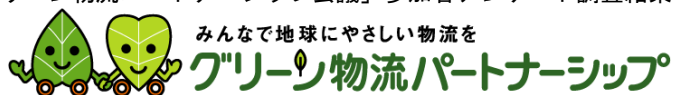
その他（主な自由記述）：「物流効率改善を促進する車両の製造」、「段ボールに代わるエコ素材の宅配 BOX のパートナー販売など」、「廃材の有効利用」、「LED 導入、グリーンリース契約導入」、「EV 開発」

**Q4-2：今後、取り組みたいグリーン物流並びに物流の生産性向上のテーマ（複数回答可）**

A4-2：

回答の選択肢	回答数(N=62) ※複数回答可	回答割合 (%)
共同輸配送	34	54.8%
輸送ルート・輸送手段の工夫	18	29.0%
モーダルシフト	18	29.0%
帰り荷確保	15	24.2%
待ち時間の削減	14	22.6%
機械化・自動化	11	17.7%
標準化（パレット、情報システムなど）	10	16.1%
エコドライブ	9	14.5%
取引条件（ロット、リードタイム、JIT、頻度など）の見直し	9	14.5%
拠点集約	8	12.9%
マッチングシステム	8	12.9%
一貫パレチゼーション	4	6.5%
検品レス	4	6.5%
環境優良車の導入	3	4.8%
貨客混載の活用	3	4.8%
電子タグの活用	3	4.8%
ペーパーレス	2	3.2%
バース予約システム	1	1.6%
特になし	0	—
その他（具体的に）	3	4.8%

その他（主な自由記述）： 「物流効率改善を促進する車両の製造」、「宅配関連グッズの素材のエコ化」



Q5：物流の生産性向上やグリーン物流の推進に向けて、今後、パートナーシップを組みたい相手（複数回答可）。

A5:

回答の選択肢	回答数 (N=63) ※複数回答可	回答割合
運輸事業者	38	60.3%
発荷主（調達先）	35	55.6%
着荷主（販売先）	31	49.2%
倉庫事業者	23	36.5%
同業他社	23	36.5%
3PL 事業者	14	22.2%
行政	5	7.9%
消費者	1	1.6%
システムベンダー	0	—
特になし	0	—
その他（具体的に）	1	1.6%

その他（主な自由記述）：「対象外」

Q6：今後、グリーン物流の実施、グリーン物流の普及・促進に向けて、グリーン物流パートナーシップで対応して欲しい活動、提供して欲しい情報等について（自由回答）。

A6：

- 今後、グリーン物流の普及・促進するために女性が活躍できる場を整備する事が必要。多くの女性や若者が参加して活躍できる活動推進の情報発信をして欲しい。
- 新規ビジネスやパートナー企業探しの窓口
- 廃材の処理、有効利用についてのアイデアが欲しい。
- ラストワンマイル及び長距離輸送の生産性向上施策
- 業界のコミュニケーションアップに今後も活用したい。
- 往復輸送のパートナーとなる企業を探せる機会の提供（公式ページ内の掲示板、マッチング会など）

以上

当日のご参加とアンケートへの回答ありがとうございました。